



T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリークラブ



『エンジョイ・ロータリー・ライフ』

～Enjoy Rotary Life～

東京六本木ロータリークラブ会長

W E E K L Y R E P O R T

『ロータリーの未来は
あなたの手の中に』

～The Future of Rotary is
in Your Hands～
国際ロータリークラブ会長

発行日 2010年2月15日

No. 25

本日のプログラム

平成22年2月15日

卓話『可能性への挑戦』

NPO法人 勇気の翼インクルージョン2015 理事長

細川 佳代子 様

プロフィール

1994年スペシャルオリンピックス日本を設立。
知的発達障害のある人の自立と社会参加を日常的なスポーツを通して実現する活動を行う。

2005年2月に長野市で開催された「スペシャルオリンピックス冬季世界大会」会長を務める。大会終了後もスペシャルオリンピックスの理念を広げるために日本各地で啓蒙活動を行い、インクルージョン（包み込む共存共生社会）を目指して新たなNPOを設立。ユニバーサルスポーツとしてフロアホッケーを普及するために日本フロアホッケー連盟を設立。会長も務め、障害、性別、年齢等を超え、共に生きる喜び

を感じる社会の実現を目指している。

また、途上国の子どもたちにワクチンをおくる認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」理事長、知的発達障害のある青年たちを追ったドキュメンタリー映画『able』『Host Town』『Believe』などを制作した「ableの会」代表、障がい者理解の「教育」と「就労支援」を二つの柱にした活動NPO法人「勇気の翼インクルージョン2015」の理事長も務めている。

著書 「花も花なれ、人も人なれ

～ボランティアの私～」角川書店

クラブからのお知らせ [2月8日例会]

●会長

本日は水谷八重子様という素晴らしいスピーカーをお迎え致しました。
どうぞ宜しくお願い致します。

●副幹事

- 5周年記念例会出欠のFAX送信のお願い
- 5周年記念例会イベント「筈小学校生徒さんとの植栽」への参加のお願い（2月15日例会後）
- 5周年記念例会プログラムの文章作成のお願い
- 東京ロータリークラブ熊平様からの小冊子配布のご案内
- 本日、ルーマニアのTriumph Bucharest RCよりマリージャン・マイアンタル様がビジターでいらっしゃいました。





平成22年1月25日

卓話 『アートの起源』

現代美術作家

杉本 博司 様



杉本博司でございます。私の作品がオークションで1億円で売れたというお話がありましたが、私がそれを貰ったわけではありません。お持ちになっていたコレクターが1億円で売ったということで、私はその5年前に600万円で売って、製作費が300万円ほどかかりました。スタッフに給料を払うと利益はほとんどゼロですので、お間違えのないように。

森美術館で5年前に大掛かりな「時間の終わり」という展覧会をさせていただきました。もともとワシントンの国立ハーシモン美術館と森美術館の共催で北米巡回展を企画したのですが、それが縁になって、高松宮殿下記念世界文化賞をいただくことになりました。

私が世界に知られるようになったきっかけは「海景」というシリーズで、1980年にカリブ海、ジャマイカで撮ったものです。アートの起源とは、考えてみれば人間の意識の起源と同じではないか。なぜ人間が生きていて意識があるか。意識が人間に芽生えてくる頃の古代人の意識はどういうものだろうか、その当時の人間が見ていた風景はどういうものだろうかということを考えて、恐らく何百万年もほとんど変わらない海の風景、海景を、初めて地球上に生まれた人類の一人である自分が見ると思ひなして、撮り始めたわけです。

古代人のメンタリティーに帰れるかということを経験的な要素で実験できないかということで、2カ月ほど前に開館した伊豆フォトミュージアムで、建築設計と造園と、開館記念展も自分でやろうということになりました。そこでは古墳時代の石組が自分で実際に作れ

るかという研究をしています。石組は一石一石を積んだものです。大きな石は割ったものではなくて、岩盤から割れた石を持って来るんですけれども、偶然に石室のようなものまでできてしまいました。ここに眠ると折口信夫の「死者の書」にあるように、冷たい滴がヒタヒタッと落ちてくる感じが分かるわけです。この中には勾玉や管玉、古代ガラスなどの自分のコレクションで、普段から眺めつ、すがめつして、古代の息吹を自分の中に移植しているものを置いています。

伊豆フォトミュージアムでは仮面もコレクションしています。古代のメンタリティーが人の顔に宿る。人間の心が発生して、心と顔が別に動くようになったのが人間の意識の面白いところで、顔が、思っていることを裏切るような演技をするようになる。そういう演技ができるようになった人間に、もう一回お面をかぶせて、二重虚構性を語ろうというわけです。

タルボットの初期のネガをプリントするという実験もしています。写真の発明家のフォックス・タルボットが1840年代に作ったネガがありまして、タルボット自身も焼いてなかった。それを買って写真史に残るものを初めて焼いてみるものです。

この辺で終わりにさせていただきます。
ありがとうございます。





～ 国際ロータリー・ニュース 2010年1月18日より ～

2010-11年度RIテーマは 「地域を育み、大陸をつなぐ」

2010年国際協議会の開会本会議にて、「California, Here I Come」という音楽と共にステージに現れたレイ・クリンギンスミスRI会長エレクトが、2010-11年RIテーマを「地域を育み、大陸をつなぐ」としたことを発表しました。

このテーマを決めるにあたって、RIのこれまでのテーマを振り返った、と会長エレクトは話します。その中でロータリアン以外の人々に訴えかけるテーマがほとんどないことに気づきました。

「そこで私は、“ロータリアン以外の人々にロータリーの目的を説明すること”と“ロータリアンに自分たちの活動の意義を再認識してもらうこと”、この2つの目標を満たす簡潔なテーマを探す決心をいたしました」と会長エレクトは説明します。

「ロータリーの現在の使命を表し、私たちが得意とすることに焦点を当て、最終的に次のテーマを選びました。“地域を育み、大陸をつなぐ”」です。

自身の50年にわたるロータリー経験から、地元と海外の地域社会に焦点を当てたいという思いが生じたと言います。例えば、ロータリー財団の国際親善奨学生として1年間南アフリカに留学した経験



を持つ会長エレクトは、米国ミズーリ州のユニオンビルという小さな町から海外留学した初めての学生でした。

夕方の講演というテーマ発表のタイミングは、過去の協議会からは異例のことでした。これは進んで変化を受入れようとする会長エレクトの姿勢を反映しています。もはやベスト・プラクティスではなくなった伝統的な慣習を見直し、適切な場合は、新しい伝統を始めるべきであるとガバナー・エレクトに奨励しました。

会長エレクトはまた、国際舞台におけるロータリーの活躍に寄与してきたロータリアンに敬意を表しました。協議会に出席している元RI会長や元役員と会い、ロータリーの歴史との結びつきを深めるようガバナー・エレクトに促しました。

(記事：Donna Polydoros)



ニコニコBOX情報

篠塚 博さん

水谷八重子様の卓話楽しみにしております。

小西 恭子さん

水谷八重子様、本日の卓話を楽しみにさせていただきます。

森 佳子さん

水谷八重子さん。今日は御多用の中、有難うございます。お話を楽しみにしています。

安間 百合子さん

水谷八重子さま、本日はご多忙の中をありがとうございます。たのしみにしております。

大橋 寛治さん

水谷八重子先生、本日はお忙しい中を卓話をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。

中川 勉さん

梅がきれいですね。

松島 正之さん

三寒四温、春の到来が待ちどしいですね。
水谷八重子さま、今日のスピーチを楽しみにしています。

山中 祥弘さん

水谷様の卓話楽しみにしていました。よろしくお願いします。

安井 悦子さん

水谷八重子様、本日はありがとうございます。
ブログを拝見致しました。私も大のネコ好き！
猫が家族です。

山口 富久さん

ニューオリンズ セインツのスーパーボール勝利を祝して。

渡邊 滋さん

あいかわらず寒いですね。
「冬がれや世は一色に風のおと」 松尾芭蕉

松本 智さん

昨日は寒い中ゴルフへ行きました。
そろそろ花粉が飛んでる様です。

2月8日

合 計	53,000円
累 計	1,676,000円

次回のプログラム

平成22年2月22日

卓話 『両陛下にお仕えして』
侍従職御用掛・前侍従長
渡辺 允 様

昭和11年東京生まれ

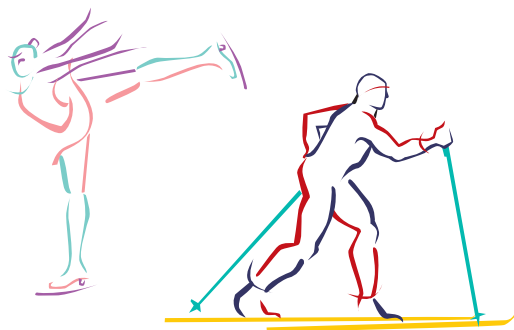
昭和34年外務省入省。

池田、佐藤、田中各総理の英語通訳、また、昭和天皇の御通訳を務める。

駐米公使、駐ヨルダン大使、中近東アフリカ局長を経て儀典長。

平成7年外務省を退職。宮内庁式部官長を拝命。8年侍従長を拝命。

一昨年6月、在職10年半をもって退官。現在、宮内庁侍従職御用掛。



2月8日の例会出席率（暫定）

例会出席者数	33名
例会出席率	69%
例会参加者数	37名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。

東京六本木ロータリークラブ

会長 山中 祥弘 幹事 三田 大介

広報・週報 片岡 雅敦
委員長広報・週報 渡辺 美智子
副委員長事務局 〒106-0032東京都港区六本木6-10-3グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL: <http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>